

1. 科目名 (単位 数)	心理学研究法演習Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SPMP4371 PSMP4371
2. 授業担当教員	加藤 宏一 / 齋藤 瞳 / 鎌田 依里 / 鈴木 克也 *指導教員を一人選び、論文作成のための指導を受ける授業です。		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	「心理学研究法演習Ⅰ」の単位取得後に受講可能です。		
7. 講義概要	心理学関連分野における近年の課題を探し出し、その課題達成に結びつくような研究テーマの設定を試みる。さらに、演習形式により調査法・実験法・介入法・質的研究法などを選択してデータの収集を行い、データの分析および得られた分析結果の考察までを行う。学生自身が心理学における知見と自らの興味関心とを結びつけながら研究テーマの設定を行い、研究計画から研究実施や考察までを行うことにより、心理学的研究を行うための基礎力を身につける。		
8. 学習目標	心理学研究法演習Ⅰの研究計画に基づいて、データの収集、分析、考察を行う。詳細については、担当教員が授業の中で提示する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	担当教員が授業の中で提示する。		
10. 教科書・参考 書・教材	担当教員が授業の中で提示する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 心理学研究法Ⅰの研究計画に基づいて、データの収集、分析、考察を行うことができる。 ○評価の方法 学則で定められた単位取得の条件を満たしていることを前提として、卒業論文の草稿となるレポート(論文の現物、報告書、分析資料、メモなど)の提出 100%		
12. 受講生への メッセージ	担当教員が授業の中で提示する。		
13. オフィスアワー	担当教員が授業の中で提示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
担当教員	授業内容		
加藤 宏一	<p>【授業概要】心理学研究法演習Ⅰで作成した研究計画書に基づいて、研究を実施します。実際にデータを収集し、結果を分析することによって、設定した仮説を検証し、研究の成果や限界などについて具体的に考察します。また、今後の研究の方向性や検証すべき課題についても明らかにしていきます。</p> <p>【研究領域】認知心理学または学習心理学の領域における実験的手法を用いた研究。</p> <p>【受講生へのメッセージ】皆さんが心理学関連の授業で学んでいる心理学の理論や知見は、すべてこうした地道な研究の積み重ねから得られたものです。心理学研究法演習Ⅰと同様に、授業外でも自ら積極的に学習し、研究の楽しさ・難しさを知ってもらいたいと思います。また、常に、自らの研究の発展や社会的意義を意識して、研究に取り組んでもらいたいと思います。</p> <p>【オフィスアワー】 授業にて通知する。</p>		
齋藤 瞳	<p>【授業概要】自身で立案した研究計画に基づき、データの収集・解析を行い、卒業論文の執筆を行う。そして、研究成果に関するプレゼンテーションを行うことにより、第三者に知見を伝えるスキルを身につけることを目指す。</p> <p>【研究領域】心身医学、臨床心理学</p> <p>【受講生へのメッセージ】卒業論文を完成させるためには、大きな努力、途中で投げ出さない強い気持ちが必要となります。最後までやり遂げられた時には、一回り成長した自分に出会えるかもしれませんね。</p> <p>【オフィスアワー】 初回授業でお知らせします。</p>		
鎌田 依里	<p>【授業目的】「心理学研究法演習Ⅰ」で検討を進めた研究計画に沿って卒業研究を完成させます。データなどを収集し、得られた結果から考察した内容を論文としてまとめます。</p> <p>【研究領域】医療心理学、身体疾患を有する人の心理、ユング派心理療法</p> <p>【受講生へのメッセージ】卒業研究は自らの興味関心や問題意識を明らかにすることが目的のひとつです。真摯に相手のところに寄り添い、卒業論文として形にしていくことは、誠実に人とかかわることに似ています。丁寧に進めていきましょう。</p> <p>【オフィスアワー】 別途連絡します。</p>		
鈴木 克也	<p>【授業概要】心理学研究法Ⅰで作成した研究計画書に基づき、研究を実施します。実際にデータを収集し、分析を行い、卒業論文を執筆します。</p> <p>【研究領域】臨床心理学、保育施設における保護者支援</p> <p>【受講生へのメッセージ】卒業研究を進めるためには、自発的に、主体的に取り組むことが重要です。卒業研究を進めることは根気のいる作業であり、決して楽なことではありませんが、最後までやり抜いていただきたいと思います。</p> <p>【オフィスアワー】 別途連絡します。</p>		